加賀電子株式会社

第51回定時株主総会

2019年6月27日

事業報告

国内外の景況感

我が国経済は中国経済減速の影響

エレクトロニクス業界の動向

車載関連市場は堅調に推移

当社グループの動き

富士通エレクトロニクスをグループ会社化

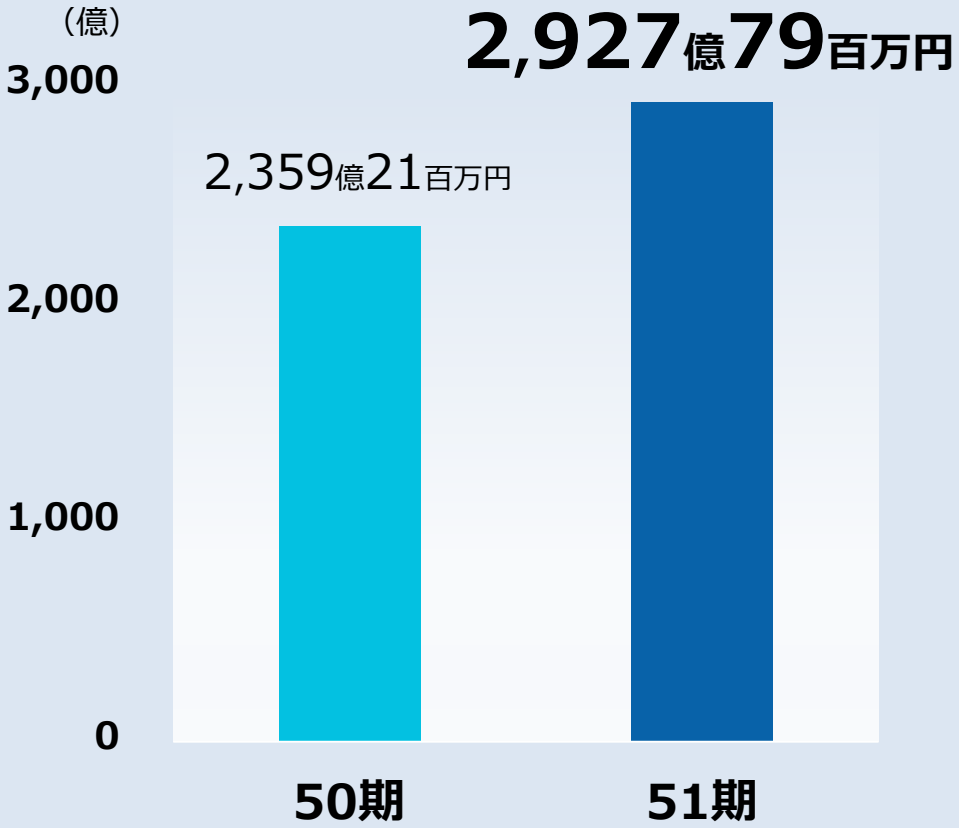
連結業績

売上高

2,927億79百万円

前期比

24.1%



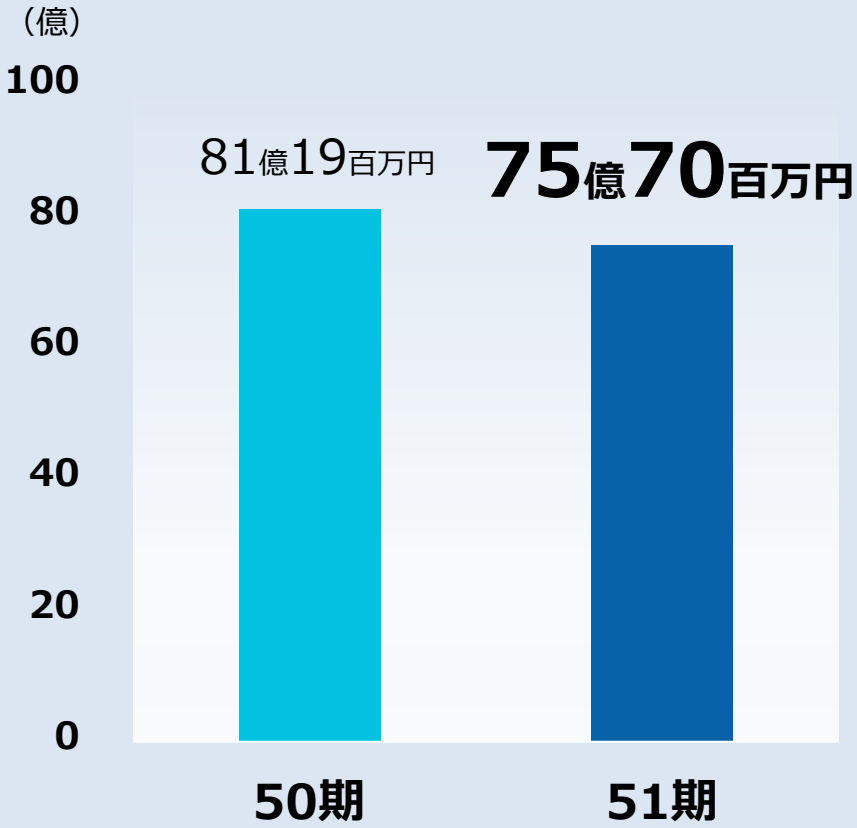
連結業績

営業利益

75億70百万円

前期比

6.8%



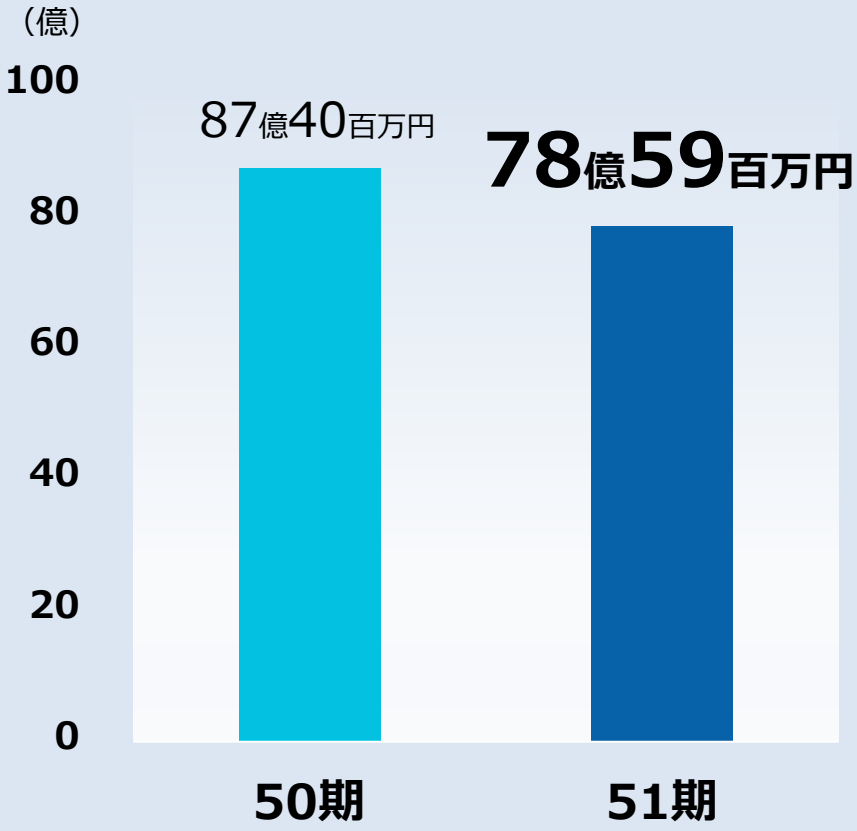
連結業績

経常利益

78億59百万円

前期比

10.1%



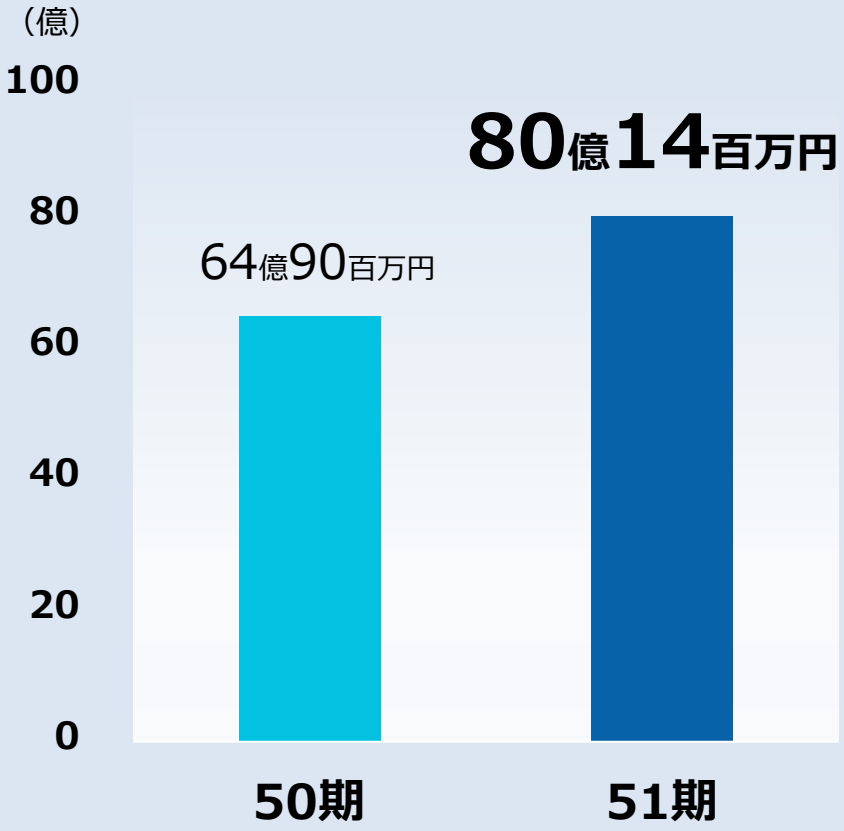
連結業績

親会社株主に帰属する
当期純利益

80億14百万円

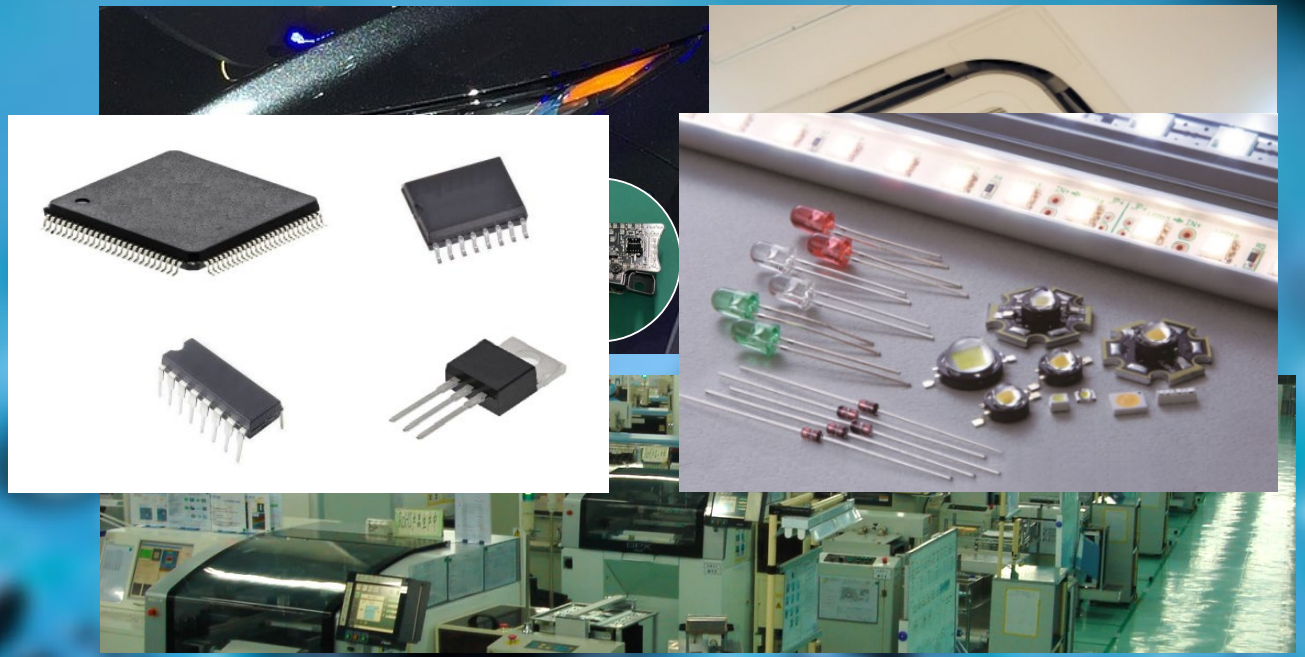
前期比

23.5%



セグメント別の業績

電子部品事業



企業買収により部品販売ビジネスは増収

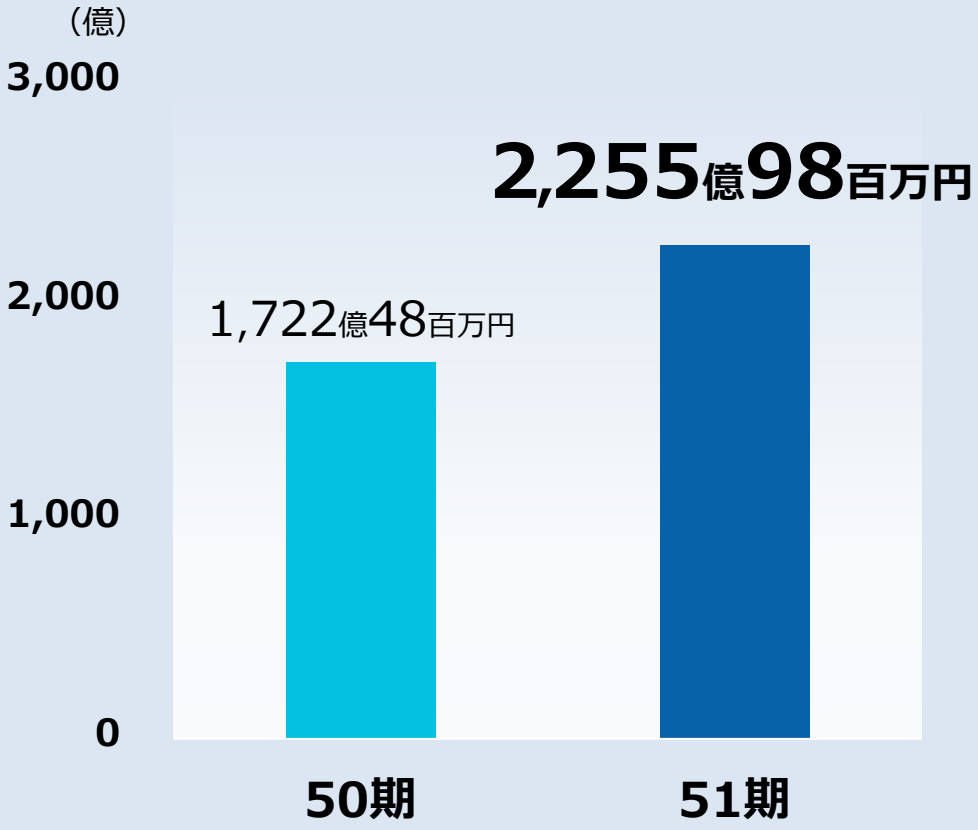
電子部品事業

売上高

2,255億98百万円

前期比

31.0%



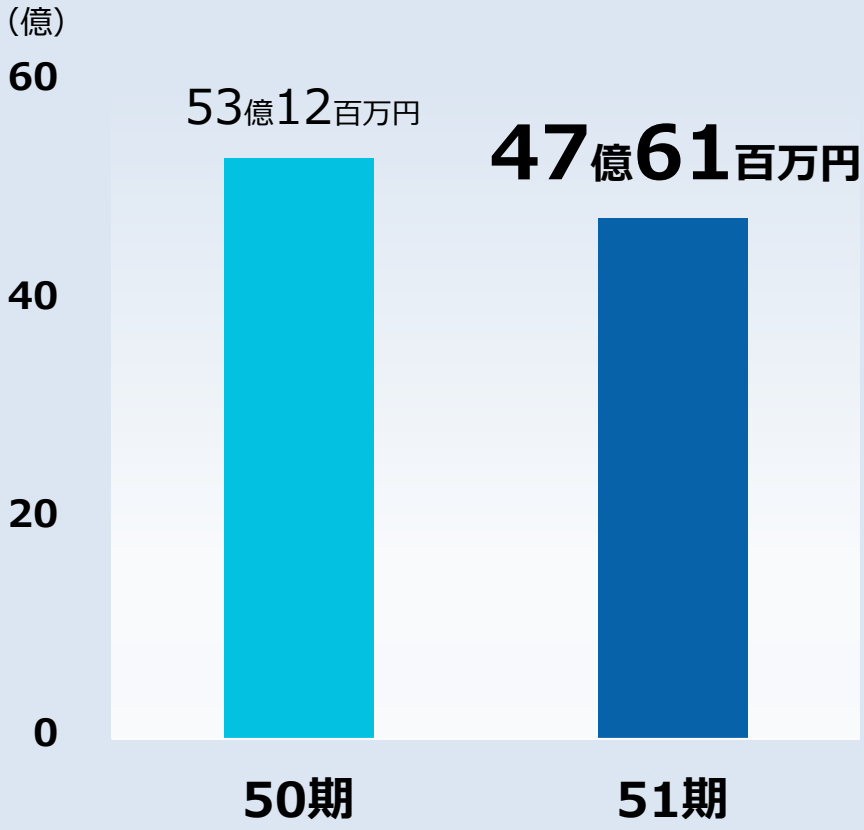
電子部品事業

セグメント利益

47億61百万円

前期比

10.4%



情報機器事業

個人向けは堅調に推移

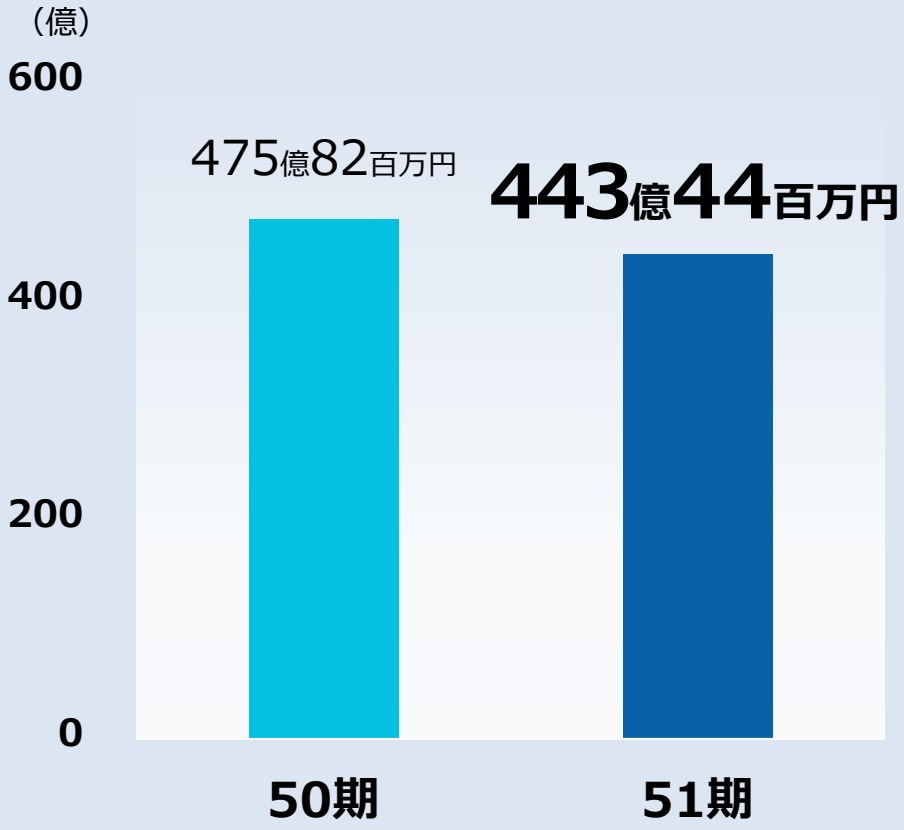
情報機器事業

売上高

443億44百万円

前期比

6.8%



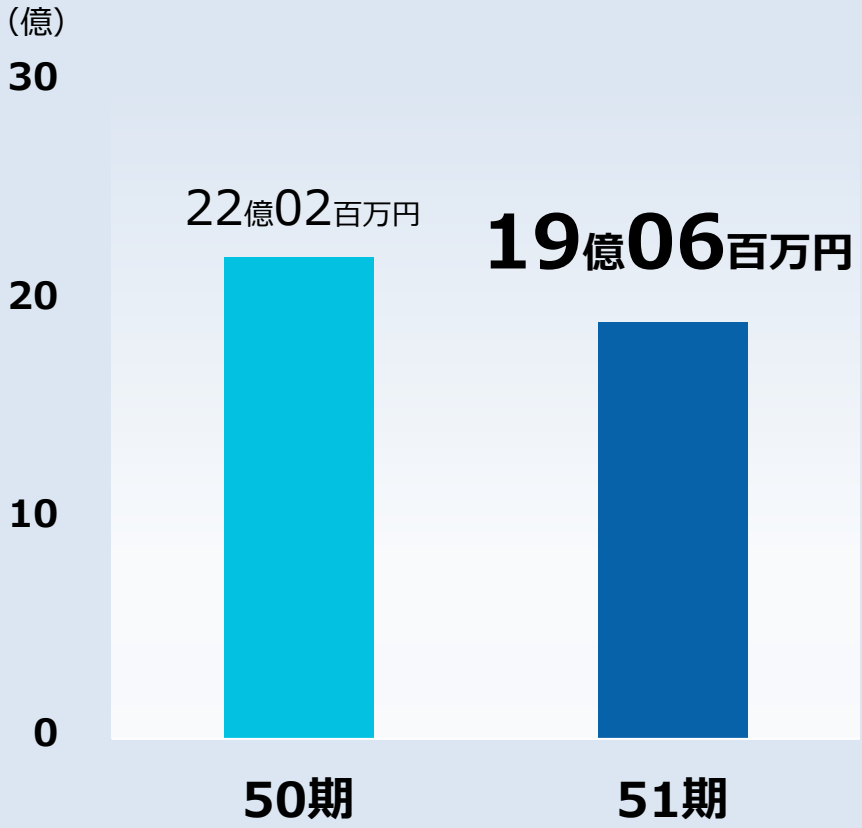
情報機器事業

セグメント利益

19億06百万円

前期比

13.4%



ソフトウェア事業

売上高

28億76百万円

前期比

12.0%

▼ キャラクターコンテンツ制作

▼ Vtuber
（バーチャルユーチューバー）

ソフトウェア事業

セグメント利益

2億47百万円

前期比

43.5%

▼ ドームシアター映像

▼ プラネタリウム
番組制作

その他事業

売上高

199億59百万円

前期比

47.6%

▼ 大型商業施設

▼ クレーンゲーム機

その他事業

セグメント利益

4億90百万円

前期比

59.0%

▼ 大型商業施設

▼ 子供向けVR機器

Ⅰ 企業集団の現況に関する事項

1. 当事業年度の事業の状況のうち設備投資の状況から他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況 …… P9
2. 直前3事業年度の財産および損益の状況 …… P10
3. 重要な親会社および子会社の状況 …… P11～P15
4. 主要な事業内容 …… P18
5. 主要な事業所 …… P19～P21
6. 従業員の状況 …… P22
7. 主要な借入先の状況 …… P23
8. その他企業集団の現況に関する重要な事項 …… P23

Ⅱ 会社の現況 …… P24

Ⅲ 会社役員の状況 …… P25

Ⅳ 会計監査人の状況 …… P30

Ⅴ 会社の体制及び方針 …… P31

招集ご通知37頁

連結貸借対照表

連結貸借対照表

資産合計

2,137億61百万円

前期比 850億05百万円

負債合計

1,295億01百万円

前期比 713億78百万円

純資産合計

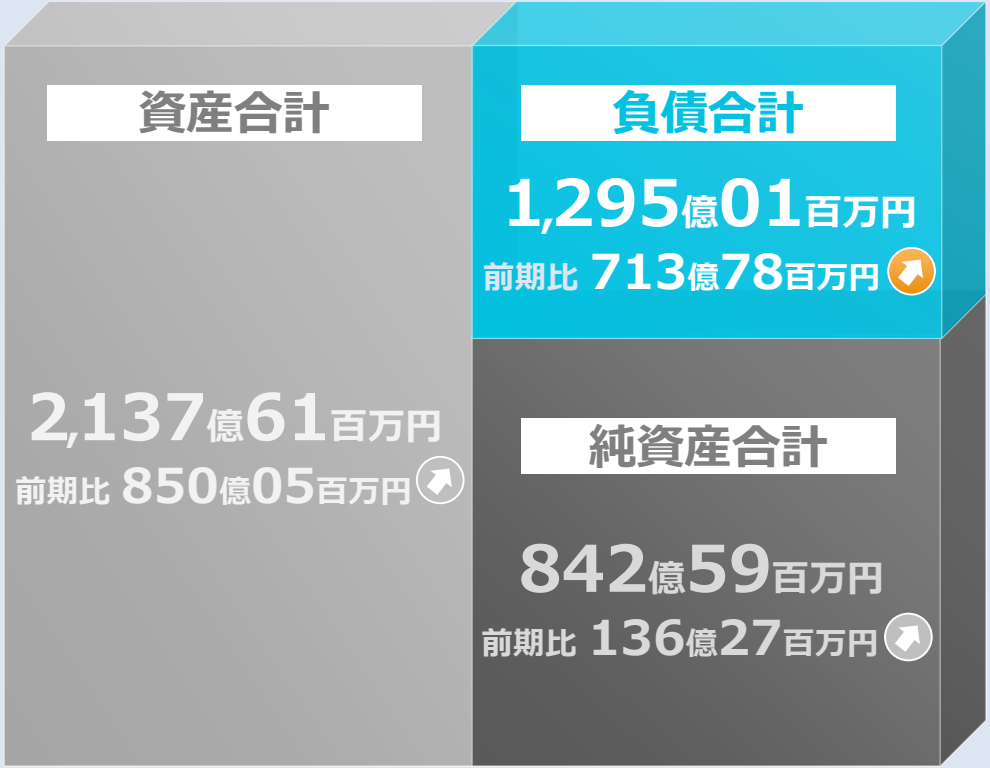
842億59百万円

前期比 136億27百万円

資産の部

流動資産	**1,823億96百万円**
受取手形及び売掛金	503億35百万円
商品及び製品	186億73百万円
固定資産	**313億64百万円**
ソフトウェア	13億04百万円

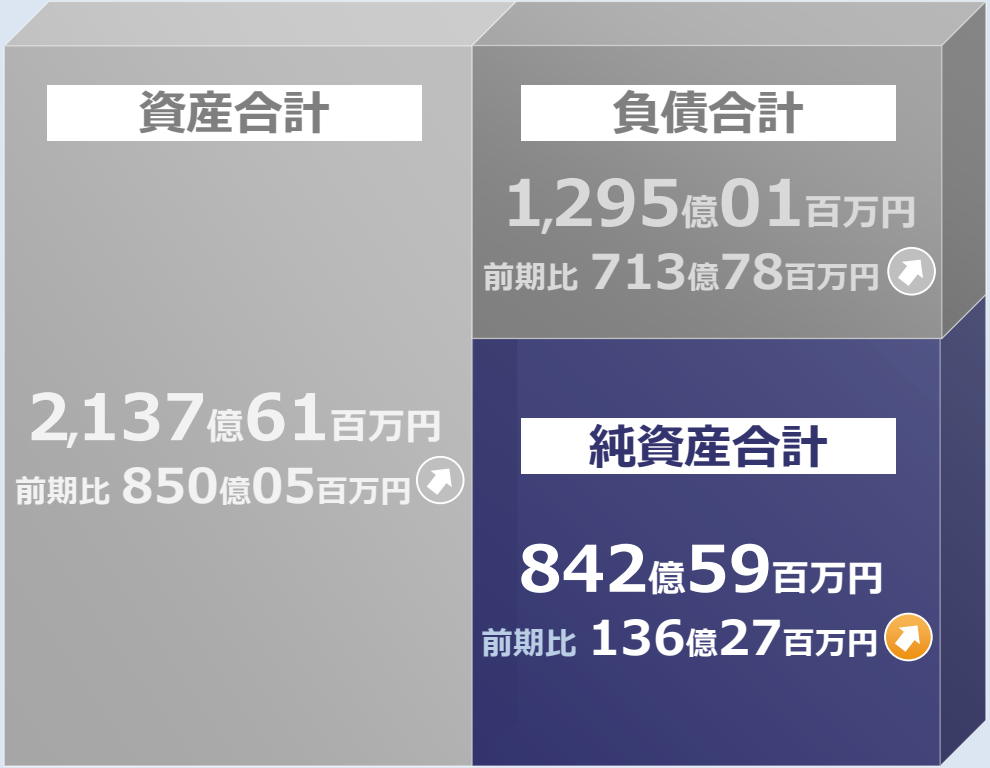
連結貸借対照表



負債の部

流動負債	**1,213億40百万円**
短期借入金	252億70百万円
支払手形及び買掛金	414億91百万円
固定負債	**81億61百万円**
長期借入金	12億78百万円

連結貸借対照表


資産合計
2,137億61百万円
前期比 850億05百万円
負債合計
1,295億01百万円
前期比 713億78百万円
純資産合計
842億59百万円
前期比 136億27百万円

連結貸借対照表

資産合計

2,137億61百万円

前期比 850億05百万円

負債合計

1,295億01百万円

前期比 713億78百万円

純資産合計

842億59百万円

前期比 136億27百万円

当期末の1株当たり純資産

2,790円97銭

（219円18銭）

自己資本比率

35.8%

（19.0ポイント）

招集ご通知38頁

連結損益計算書

招集ご通知39頁～40頁

連結包括利益計算書
連結株主資本等変動計算書

招集ご通知16頁

対処すべき課題

対処すべき課題

すべてはお客様のために

対処すべき課題

電子部品・半導体販売
EMSビジネス
独立系のエレクトロニクス総合商社
企画・開発
設計支援
ソフトウェア・
映像制作
システムサポート

対処すべき課題

エレクトロニクス商社を取り巻く事業環境

[illegible]

需給変化や価格変動

[illegible]

製品ライフサイクルの短命化

完成品組立ての海外生産シフト

企業間競争の更なる激化

対処すべき課題

大手顧客への
電子デバイス拡販

海外市場を中心とした
EMSビジネス拡大

成長戦略の加速

富士通エレクトロニクスをグループ会社に

対処すべき課題

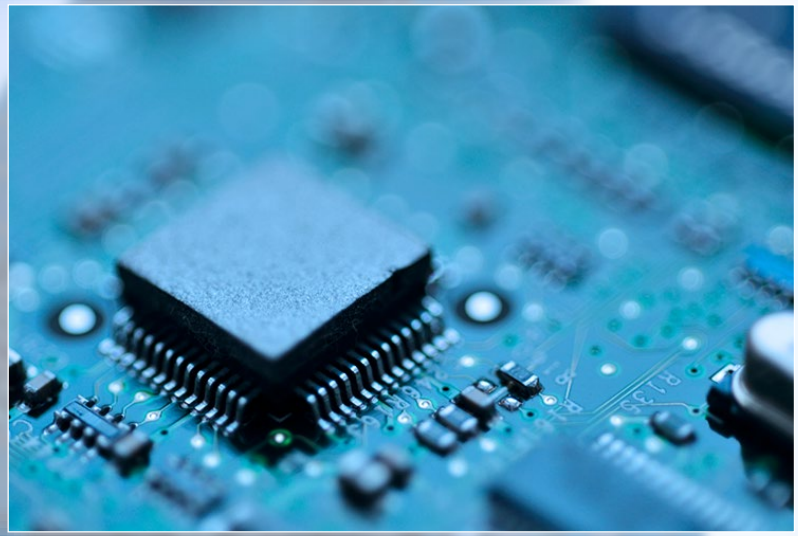
Ⅰ 電子部品・半導体ビジネスのシェア拡大

Ⅱ EMSビジネスの事業規模拡大

Ⅲ 両社事業協業に伴う経営効率の更なる向上

対処すべき課題

Ⅰ 電子部品・半導体ビジネスのシェア拡大



取扱い商材や国内外の
販売チャネルを相互に補完

▼

お客様ニーズ対応力を強化

対処すべき課題

Ⅱ　EMSビジネスの事業規模拡大

EMS拠点網

×

広範な顧客基盤の共有

▼

更なる成長の実現

対処すべき課題

Ⅲ 両社事業協業に伴う経営効率の更なる向上

販売関連組織・各種機能の最適化

相互活用の最大化

▼

両社の収益性向上

対処すべき課題

売上高5,000億円級の企業グループ

中長期経営ビジョン

「我が国業界No.1企業」

海外競合企業と戦える「世界に通用する企業」

中期経営計画 2021

01 収益基盤の強化

02 経営基盤の安定化

03 新規事業の創出

01 収益基盤の強化

時流を先読みする創業来のDNAを活かし、
高い成長性が見込まれる市場・分野に注力、
収益基盤の強化を図る

中期経営計画 2021

01 収益基盤の強化

02 経営基盤の安定化

03 新規事業の創出

02 経営基盤の安定化

効率性・財務健全性の更なる向上に向けて
経営基盤の強化を図る

コーポレートガバナンスの強化、人財の育成

中期経営計画 2021

01 収益基盤の強化

02 経営基盤の安定化

03 新規事業の創出

03 新規事業の創出

外的環境変化への耐性強化のため、
自社リソース及びM&Aを積極的に活用

中期経営計画2021

	2022年3月期 経営目標
売上高	5,000億円
営業利益	130億円
ROE	8.0%以上

国内19社

海外37社

加賀電子グループ

合計56社

すべてはお客様のために

加賀電子株式会社